

# 平成31(令和元)年度運輸安全マネジメント目標

2019.4.1

## 1. 事故防止のための安全指針

安全を確実に提供し、お客様に安心していただける輸送  
安心、安全輸送はわが社の根幹

- 1) 安全輸送がわが社の根幹、社長及び全社員がお客様から安心  
頂ける輸送に最善の努力を尽くす。
- 2) 輸送に関連する各規程及び法令を遵守し、管理運営を行う。
- 3) 輸送に関する情報の公表及び安全管理体制の維持遂行。

## 2. 社内への周知

「安全指針」・安全運行警鐘事項を事務所・休憩室内に掲示すると共に各車両の運転席側・名札裏に貼付し安全意識の高揚に努める

## 3. 安全方針に基づく目標

- (1) 人身事故(車内外)ゼロを貫徹しよう
- (2) 飲酒運転・法定速度等コンプライアンスの遵守

## 4. 目標達成計画

- (1) 法令・指導教育・講習会の実施
- (2) 乗務員面談(運行・健康・生活等確認把握と指導)
- (3) 顧客満足度の向上

## 5. 安全に関する情報交換

- (1) 日本バス協会より情報と事故事例の指示及び掲示
- (2) 健康診断(SAS含)・運転記録証明書等、適性診断から得た懸念事項を指導、ヒューマン事故防止

## 6. 安全に関する反省事項

- (1) H30年度事故分析より伝達・掲示。  
大型バスに関して：目測誤り損傷が目立つので警鐘する  
小型・マイクロに関して：後退時の接触が多いので常に声掛け・掲示
- (2) 各方面から得た情報の喚呼・掲示

## 7. 改善措置

- (1) 乗務員・運管・安全管とのタイムリーな打合せ。
- (2) 法規制に遵守した指導教育(研修・講習会)

## 8. 平成30年度目標：結果(本社・大阪)

目標項目	目標数値	結果	目標達成
人身事故	0件	0件	100%
飲酒運転	0件	0件	100%
物損事故	前年58% (前年17件)	10件	0%
クレーム	0件	1件	0%

## 9. 平成30年度事故分析

項目	各件数	原因	次年度へ対応及び対策
重大事故	0件	—	継続する
事故の種類	3件 4件 3件	後退 不注意、クレーム もらい	後退時確認不足により塀・柱・石垣などを損傷することが目立つ。対策として思い込みによる目測誤りは特に注意し、注意散漫にならないこと。
衝突の状態	10件	軽微接触 (上記原因)	障害物のある場合の後退・切返しは必ず目視し、目視出来ないなら何度も切返し目測誤りを無くす。

## 10. 平成31(令和元)年度目標(本社・大阪)

目標項目	目標数値	結果	目標達成
人身事故	0件		100%
飲酒運転	0件		100%
物損事故	前年30% (前年10件)		100%
クレーム	0件		100%